

I 多発・激甚化する土砂災害に備えた予防的対策のあり方

- ・地球規模の環境変化に起因する**集中豪雨、大地震**や**火山噴火**など、土砂災害を引き起こす誘因は**今後増大**
- ・危険箇所への施設整備は未だ途上である一方、**予算は減少の方向**
- ・自然・社会状況の変化による**土砂災害リスクの増大**に対する**適切な対処**が急務
- ・地域の社会・経済・文化の根幹を守る**施設整備の戦略的な推進**が課題
- ・除石や施設の改良による能力向上など、**既存ストックの有効活用**の必要性が増大

II 土砂災害の被害を最小化するソフト対策の展開のあり方

- ・近年の災害においても**円滑な住民避難**ができない事例が多数
- ・**ソフト対策**を促進する土砂災害防止法に基づく区域指定は**途上の段階**
- ・行政と住民の**情報共有**、安全な**避難路・避難場所**の確保、土砂災害に対する**知識の普及**等に関する効果的な取組みが必要

III 人口減少・高齢化における、安全で活力ある地域の形成に寄与する砂防事業のあり方

- ・人口減少・高齢化の進展により、都市の山麓地域や中山間地等で**社会的な災害脆弱性が増大**
- ・国土の7割を占める山地の**国土保全機能の低下**や地域の**個性ある文化・産業の消失**が懸念

IV 美しく持続可能な流域圏の形成

- ・上流域の河床上昇やダム堆砂、海岸侵食など**土砂の流れに起因する問題点**が各地で顕在化
- ・**景観や環境保全**に関する国民の関心の増大に対応した、**地域の多様な主体と連携した取組み**が重要に